

子育て支援情報紙

えんぜる

第315号



令和 6年 8月 1日
足寄町教育委員会
Tel 0156-25-3188
バックナンバーはこちら

8月

子育て支援カレンダー

紙 面

二面
三面
四面
↓
『保護者の目線での情報
「足寄ふるさと盆踊り・両国花火大会を深掘り」
休憩室・お勧めの本・編集後記』

日	月	火	水	木	金	土
つどいの広場 ⇒ 子どもセンターで、毎週・月・火・木・金の9:30~11:30 事前予約不要、詳細は子どもセンター【025-4415】まで 児童館⇒月～金 10:00~11:50 開放・詳細⇒025-7575 ひよこクラブ⇒詳細はつどいの広場と児童館のポスター参照！ 問合せは、子どもセンター【025-4415】まで			こども園開放 10:30~11:30 対象：未就園児	1	2	3
4	5	6 えんぜる編集会議 11:00~	7 おはなし「たんぽぽ」 11:00~11:30 対象:3歳未満	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20 乳幼児相談 (フリー) 13:00~14:30	21	22 すくすく 10:10~11:50	23	24 絵本の会はらっぱ 11:00~11:30 対象者：どなたでも
25	26	27 リサイクルの日 10:00~11:15 町民センター	28 ひよこクラブ 七夕・夏まつり	29 つどいの広場 お楽しみ会 10:30~	30	31

「すくすく」会員募集中

「すくすく」では不安や悩みを抱えながら子育てをしているママやパパが心身ともに健康でお子さまを育てられるよう、サポートしていくことを目的に実施しています。

軽運動やものづくり、子育てについて学ぶ機会もあります。参加者同士交流しながら楽しみましょう☆

同施設内に託児も設けておりますので、安心して参加いただけます。

興味のある方は下記までご連絡ください！

☆詳細や入会のお申し込みはこちらのQRから

(足寄町教育委員会 生涯学習担当 ☎0156-25-3188)



次回 8月22日(木)は刺繍体験講座

足寄の夏～風物詩

ふるさと盆踊り・両国花火大会を深掘り♪

夏といえば、花火大会。足寄町の花火大会も有名ですね。そこで、足寄町の風物詩となっているふるさと盆踊り・両国花火大会について足寄町経済課の山下さんにお聞きしました。

Q1 足寄ふるさと盆踊り・両国花火大会は、何年前からやっていますか？

A1 十勝毎日新聞の記事によると、大正11年に『盆踊りを』との記事があり、その後、昭和41年に町商工会主催による納涼盆踊り、町商工会青年部主催の納涼花火大会が開催されました。昭和55年からは、町、商工会、観光協会、建設業協会などで構成する実行委員会による開催となり、55年、56年には足寄町出身の歌手松山千春さんが参加して大いに賑わっていました。昭和49年から63年までは花火大会は中断していましたが、平成元年から花火大会が復活し『足寄ふるさと盆踊り・両国花火大会』として現在に至ります。（新型コロナウイルス感染症拡大により令和2年から令和3年は中止。令和4年は花火のみ開催。）今年の花火大会は、通算42回目となります。

Q2 花火の種類と打ち上げられる花火の数は？

A2 スターマイン・中国花火・ナイアガラ（最大2.5号玉）など、約8,000発が上がります。

Q3 FM-JAGAさんとのコラボレーションは、いつからですか？

A3 当時の祭りは盆踊りと花火しかなく集客も伸びなかったため、青年協議会発案で7～8年前頃から始めており、その頃からミニステージやビアガーデンも開催し祭りを大いに盛り上げる要素になっています。

Q4 生まれた子どもの数の花火を打ち上げることになった経緯は？

A4 花火大会の日程が毎年8月15日のため、お盆帰省されている方々も多く「自分の故郷では新しく生まれてくれたお子さんたちに対し感謝の気持ちを大切にしています」という意味合いを込めて、平成27年から始まりました。

☆お子さんのお名前を呼ばれたご両親の感想→花火が上がって自分の子どもの名前が呼ばれお子さん全員の名前が読み上げられた最後に『うまれてきてくれてありがとう！』というナレーションを聞いて涙が…。とてもよい思い出になりました。



～ちょっと小話～

☆なぜ両国橋っていうのですか？

→ 明治 45 年、架換されて現位置付近に移設の際に、釧路国(足寄郡)と十勝国(中川郡)の 2 つの国をつなぐ橋を、「両国橋」と名付けたそうです。両国橋は、昭和 28 年に永久橋として竣工され、阿寒へ続く観光ルートの橋としてその役割を果たしていましたが、交通量の増加とともに危険性が増したため、昭和 49 年 10 月に総工費およそ 2 億 4 千万円かけて竣工されました。なお、この橋は明治 39 年に初めて架けられた橋から数えて 5 代目となります。橋長 105m、幅員 14m(車道 11m、両側に歩道 1.1m) ※足寄百年史より抜粋

足寄ふるさと盆踊り・両国花火大会 2024

令和 6 年 8 月 15 日(木)【雨天順延 8 月 16 日(金)】

13:30~21:00 ☆ 花火大会 19:30~20:00

◎子ども縁日、子ども盆踊り、仮装盆踊りなど楽しいイベント盛りだくさん!!

◎家族そろって、この夏の思い出に出かけてみてはいかがでしょうか♡

※お問合せは、足寄ふるさと盆踊り・両国花火大会実行委員会(Tel. 28-3863)までお願いします。

休 憩 室

夏にぴったり！簡単トマトツナそうめん』

【材 料】（2人前）

- ・そうめん 200g ・お湯（ゆで用）
- ・氷水（冷やす用） ・トマト 1 個
- ・ツナ油漬け 1 缶 ・大葉
- ☆めんつゆ（2 倍濃縮）大さじ 2
- ☆ごま油大さじ 1 ☆白すりごま大さじ 1
- ☆黒こしょう小さじ 1 ☆塩 小さじ 1/2

【作り方】

- 1 大葉は千切りにします。
- 2 トマトは 1 cm 角に切ります。
- 3 ボウルに 2、ツナ油漬け、☆を入れて混ぜます。
- 4 鍋に湯を沸かし、そうめんをゆでます。お湯を切り、氷水に入れて冷やします。
- 5 器に水気を切って 4 を盛り付け、3 をかけ、1 をのせます。

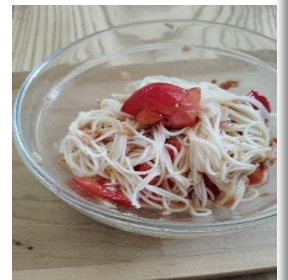
<コツ・ポイント>

☆調理時間 10 分！トマトがおいしい夏の簡単レシピです。

☆小さいお子さんは、黒こしょう、大葉を除くと、親子で楽しめる一品になります!!

<このレシピについて>

今朝、子どもの朝ごはんに作ってみたら、喜んで食べて学校へ行きました。
とても簡単なので、ぜひ作ってみてくださいね。



私の見つけたお勧めの『本』 ~今号の絵本は図書館<ルイカ>にあります!!

絵本『しりながおばけ』

著 者／たなか ひかる 出版社／文 響 社

作者「たなかひかる」さんは、人気ギャグマンガ『サラリーマン山崎シゲル』の著者でもあり、お笑い芸人。

前作『おばけのかわをむいたら』からパワーアップした創造力!!
このシュールな世界が、私のツボです（笑）

読み聞かせて、子どもは親の反応も楽しんでますよね～！内容はピンとこなくても母のツボる姿が見たくて「また読んで～！」って☆



編集後記

子どもの頃から「お祭り」と聞くだけで心が勝手に躍り出す私。出店や盆踊りはもちろん楽しかったけれど、やはり一番の思い出は花火でした。できるだけ近くに席を確保して、打ち上がった瞬間に「ドーン!!」と心臓に響くあの迫力には、今でも圧倒されてドキドキします。わが家の三男が生まれた翌年、お祝いの花火を上げてもらえる上に特等席にご招待していただきました。上のお兄ちゃんたちもまだ小さかったのですが、家族でゆったり鑑賞できた事が本当に有難くて、素敵なプロジェクトを考えて下さった皆さんに感謝しました。

音楽に乗せて打ち上がる大輪の花。十勝に来るよりずっと前からドリカムファンの私は、花火と言えば十勝川の花火大会を歌った「あの夏の花火」が浮かんで、遠い日の夏を懐かしく思い出しますが、足寄町の子どもの心にはどんな風に残るのでしょうか。やはり今年の両国花火大会の締めも、松山千春さんの曲なのでしようか。この子たちが大人になった時に思い出す、お祭りの景色とともに流れる曲は・・・?

今年のお祭りもすっごく楽しみですですね。さあ、どんなファイナーが待っているのでしょうか？すっかりオバサンになった私の胸も今から高鳴っています♪

（編集委員 Y・M）